

佳作

二〇三七年のぼくは

和歌山県 智辯学園和歌山小学校二年 中粉 隼杜

しょう来のゆめは、ときかされると、ぼくの答えはいつもきまっています。

「アナウンサーになりたいです。」

そして、ほうどう番組のアナウンサーになって、しゅざいに行ったり、ニュースをつたえたりしたい、とつけくわえます。

その理ゆうの一つは、せかいのいきごとをまっ先にしることができからです。ぼくは何でも知りたくて、見たり、聞いたり、しらべたり、じょうほうをあつめることにむ中になります。今、見ているニュースを、自分がつくると思うと、むねがドキドキします。

そして、理ゆうの二つ目は、みんなにじょうほうを知らせたいからです。夏休みは、リオデジャネイロオリンピックで、日本のせん手がたくさんメダル

をとりました。きょうぎのかん動は、地きゆうのうらがわにいても、そこにいるみたいにつたわってきました。こんな風に、ぼくはかん動をみんなに伝えられる人になりたいです。

しょう来、とくに伝えたいのは、東京と大阪をむすぶりニア中おう新かん線のかいぎょうのしゅん間です。これが、早まりそうだとニュースでしりました。一番早くて二〇三七年になるそうです。ぼくは、二十九さいです。東京と大阪は、一時間でつながらることになります。きっと、たくさんの人が楽しみにしていたことだと思います。このかん動の場めんをみんなにつたえたいと思います。

ぼくは、リニア新かん線のことを早くしりたくて、きよ年の夏休み、山なし県のリニア見学センターに行きました。たくさんの人がしけん走行をまわっていました。ゴーツとひくい音がつたわってきたかと思うと、次のしゅん間、白い車体がとび出してきて、きえていききました。今までかんじたことがないはやさと強さがかっこよさにとびあがりました。

そこにいた、まわりの人も、みんなそうでした。かいぎょうしたら、いままでできなかったゆめみたいなことができるようになると思います。

ニュースをみているとじけんやじこ、さいがい、テロなどかなしい話が、多い日があります。だから、よけいにぼくは、みんなの気もちが明るくなるような話を上手につたえて、みんなでかん動を分けあえるようなしごとをしたいと思います。